

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

テーマ：モッFUNでどんなことができるかな

10月



初めてモFFUNにさわったよ

初めてモFFUNで遊びました。

モFFUNの感触を触って確かめてみたり、保育者のどんな遊び方ができるかなの問いかけに頭にさせる、お腹の中に入れてみるなど、色々な遊び方を試す姿がみられました。感触に柔らかさがあることもあり親しみを持ち遊ぶ姿が見られていました。

11月



モFFUNをくぐってみよう・取ってみよう

全身を動かし遊ぶ楽しさを感じ始めていたり、指先を使うことが以前より上手になってきていたので、モFFUNの遊びの中にも全身を使った遊びと指先を使用する遊びをモFFUNを洗濯バサミではさみ吊るすことで取り入れてみました。

モFFUNに当たらないように全身を使ってくぐり前に進む。集中して洗濯バサミからモFFUNをとり夢中になり遊んでいました。色々と考えながら体を動かす経験が持てました。

12月



モフン集めゲームや体を色々動かしました。

モフンをどれだけ持てるかなと遊んでいる姿や友だちや保育者と関わりながら遊ぶ姿が見られてきました。モフンを集める友だちと一緒に遊ぶ姿が見られたので、2チームに分かれどちらのチームがたくさんモフンを集められるかという簡単な集団遊びも楽しみました。勝ち負けの楽しさを知ったり、近くにあるモフンを集める、たくさん持っていくなど、子どもたちなりの工夫が遊びの中でみられました。

1月



風船を狙って！

お友だちとボールやモフンを投げ合う姿が見られてきたので、ぶら下げた風船に向けてモフンを投げてみました。どうやったら風船の的に当たるかなと思いきり投げたり、風船の近くに行き行って投げたりと、考えながら狙って投げるという遊びを楽しんでいました。全身を使うあそびを楽しむことができるようになってきました。

3月



色々な高さの的にモフンを投げてみよう。

上投げが上手になってきたので、色々な高さにフラフープをつけて投げてみました。高いところ、低いところ保育者が持っているフラフープに投げていました。当たっても痛さもなく、しっかりとつまみ持つことができるので思い切り投げるということを十分に楽しむことができました。

振り返り・気づき

モフンの感触に親しみを持つことから始まったことで、子どもたちから、こんなこともできるかな、これも楽しいよと色々な遊びをすることができました。子どもたちの成長にあわせ、友だちと一緒に遊ぶ投げ遊ぶというところまで、遊びを広げていくことができました。